

[取組事例] 中津市立緑ヶ丘中学校、生徒数615名、中津教育事務所管内

好 事 例 の ポ イ ン ト

・4点セットをふまえた分掌の役割の明確化及び、発達段階をふまえた学年部での取組の明確化

1. 取組の内容

分掌目標と重点目標の関連 自己目標作成のために(学校→重点→分掌→自己)

学校の教育目標	つながりを大切にし 人のために汗を流し「生きる力」を身につけた生徒の育成 「生きる力」…知(確かな学力) 徳(豊かな心) 体(健康・体力)					
重点目標	確かな学力の向上			安心して学び合う集団をつくる		
達成指標	○「授業がわかる」(生徒アンケート)と回答する生徒の割合を全教科80%以上にする ○定期テストにおいて、基礎問題の正答率を80%まで高める (基礎問題は知識・理解に関わること)			○「学校が楽しい」と回答する生徒の割合 90%以上(昨年度88%) ○いじめの完全解消率 95%以上(昨年度94%) ○「クラスが自分にとって居心地がいい」という生徒を85%にする		
重点的取組	指導力の向上を図り、学び合いのある授業を推進する	基礎学力の定着を図る	安心できる学級・学年づくりをすすめる	自主活動の充実を図る	校内や教室の環境整備を図る	家庭・地域との連携を図る
取組指標	◎全教職員で毎時間以下のことを行う 【アンケートで確認】 ○学習規律を徹底する ア、あいさつ(授業の始めと終わりの徹底) イ、グループ学習は必ず指をつける ○新大分スタンダードに基づいた授業を行う 授業の中に「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を必ず位置づける	◎全教職員で毎日以下の取組を行う ○基礎学力対策プリントを実施する(1, 2年) 【基礎学力担当による毎日の点検】 ○「整理と研究」を実施する(3年) ○「毎日ノート」に取り組み(1, 2年) 【担任による毎日の点検】	◎全学級で担任が4月中に以下のことを行う。 【掲示物とアンケートで確認】 ○担任の思いを提示する ○学級目標と学習目標をつくる ○エンカウンターを実施し、人間関係づくりをすすめる	◎全教職員が各専門部の指導を行い、毎月の活動を計画・実行する ◎全職員が毎日の朝の登校指導(学級・昇降口・校外)を実施する ○先手あいさつの徹底を図る。 【アンケートで確認】	◎全教職員で毎日以下のことを行う ○「黙々清掃」を徹底し、掃除場所での始まりと終わりのあいさつを行う ○学級・学年の掲示物を共通し、確認する 教室前面、学年階段、毎日の新聞 【アンケートで確認】	◎各担当が各種通信の発行と管理を行う (学校:月1教頭、学年:週1担当、保健:月1養護、生指:月1) 【通信の発行状況で確認】
	授業づくり部(南)		集団づくり部(中野)		環境づくり部(今長)	
授業研究 ○南 小家 二股 市川 内田 山岡	校内研究の充実に向けて授業改善をすすめる。そのための方策を提案実施していく					
家庭・補充学習 ○今永 高橋 山本 隈井 久保崎 奥中 久保	各学年の実態に応じて補充学習・家庭学習を計画・実施することで基礎基本の定着を図る					
安心して学び合える集団を育てる ○古宮 中原 大江 平野 田上 磯辺 神崎			学年学級集団づくりをすすめる そのための方策を提案実施する			
自主活動の充実 ○磯山 中野 河野 野口 野崎 榎本 吉成			生徒の自主活動の推進を図る 生活や授業を規律あるものにする。そのために実態に応じた方策を提案実施する			
環境整備 ○丸山 松田 牧 大海 上原 外園					校内美化と整備を図る 教室や廊下の掲示物の工夫をする	
家庭との連携 ○今長 井浦 古賀 川野 奥崎 若林					学習指導・生徒指導について学校の取組や生徒の様子を知らせることで家庭の協力を得る	
1年	学習規律、学習習慣を身につけさせることで基礎学力の定着に努める。 ・1分前着席を徹底させ、「今何をするとときか」を意識させる。 ・毎日ノートを活用させるとともに家庭学習課題を計画的に出す。		助け合い、互いに高め合う集団づくりを努める。 ・全活動を通じて生徒の改善点やよかった点を把握し次の指導に活かす。 ・生徒会活動や学年生徒会活動等の取り組みを通して集団の自治力を育成する。			
2年	家庭学習の取り組みを習慣づけることで基礎・基本の定着の確立 ・毎日ノートを活用することで、家庭学習の習慣化を図る。 ・授業規律を確立させ、基礎基本の学力の定着を図る。		いじめや差別を許さず、思いやりのある学年集団の育成。 ・道徳、特別活動を通して、他者理解を深めることのできる生徒を目指す。 ・場に応じた言葉遣い、聴く態度の指導をきめ細やかに行う。			
3年	進路学習を推進するとともに家庭学習の充実を図り学力の向上に努める。 ・道徳、特別活動、総合的な学習時間に進路について考え、自己決定をさせる ・入試対策学習や家庭学習を定着させて、学習意欲の向上を図る		最高学年としての自覚を持ち、豊かな人間形成に努める ・日常的な人権学習を行うことで相手を思いやった言動を育む ・教育相談やチャンス相談を行う			
教科()						
自分の他の分掌において()						

学校教育目標をもとにした4点セット

4点セットを分掌ごとに細分化

学年部の発達段階に応じて取組を設定

2. 取組についての評価等

- (1) 4点セットを分掌ごとに細分化することで、学校運営での取組が明確になる
- (2) 分掌の縦の取組に加え、学年部ごとの横の取組も明確にすることで、効果的な指導によりOJTに生かすことができる